

平成29年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

未来へつながる幼児への教育・保育を考える

**～改訂幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び改訂幼稚園教育要領、改定保育所
保育指針に関する研修～**

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

保育教諭及び幼稚園教諭、保育士が平成30年度から施行される幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び幼稚園教育要領、保育所保育指針について理解を深めるとともに、それに則った具体的な活動についての体験及び学びを通して保育教諭及び幼稚園教諭、保育士としての資質や能力の向上を図る。

2. 事業の概要

（1）期日

平成30年1月12日（金）～1月13日（土）1泊2日 ※日帰りも可

（2）参加者

①募集対象・人数

保育教諭、幼稚園教諭、保育士 40人程度

②参加人数

80人

（3）講師

①事例発表：岡山市立桃丘幼稚園教諭

近藤 亜希 氏

社会福祉法人宮川福祉会こじか保育園長

宮川 洋子 氏

②パネリスト：内閣府子ども・子育て本部参事官付教育保育専門官

横澤 峰紀子 氏

文部科学省初等中等教育局幼児教育調査官

河合 優子 氏

厚生労働省子ども家庭局保育課保育指導専門官

鎮目 健太 氏

③コーディネーター：独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長

鈴木 みゆき 氏

（4）企画・運営のポイント

- ① より多くの方々の参加を得て、平成30年度から施行される改訂幼稚園教育要領等の内容を周知するために、岡山県、岡山市、倉敷市、吉備中央町、岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、倉敷市教育委員会、吉備中央町教育委員会へ後援を依頼した。
- ② より先進な事例を通して、改訂幼稚園教育要領等の学びを深めるために県内の幼稚園及び保育園に事例発表を依頼した。
- ③ 改訂及び改定の意図を具体的に伝えるために、直接改訂に携わった文科省の幼児教育調査官等一府二省の専門家からのシンポジウムに加えて、夜に情報交換会を行うこととした。
- ④ 参加しやすい環境作りとして、両日ともに日帰り参加を可能とし、岡山駅と備中高梁駅への送迎も行った。

3. 活動の内容等

(1) 日程

1月12日（金）		1月13日（土）	
13：00	受付	6：45	起床・洗面
13：30	開会行事	7：20	清掃
13：50	事例発表	7：45	朝のつどい
14：30	シンポジウム	8：00	朝食
17：15	夕べのつどい	9：30	教育・保育要領及び教育要領、保育指針に沿った体験活動の実際 ～各園ですぐに使える活動～
17：30	夕食		
19：00	情報交換会	11：40	閉会行事
20：30	入浴 就寝準備	12：00	昼食
22：00	就寝	13：00	解散

(2) 活動の状況



【事例発表】



【事例発表】



【シンポジウム】



【シンポジウム】



【情報交換会】



【情報交換会】



【体験活動の実際 段ボールハウス作り】



【体験活動の実際 段ボールハウス作り】



【体験活動の実際 段ボールハウス作り】



【体験活動の実際 ネイチャーゲーム】



【体験活動の実際 ネイチャーゲーム】



【体験活動の実際 ネイチャーゲーム】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：98%

やや満足：2%

(2) 参加者の声

- ① 「シンポジウム」では、保育園・幼稚園・こども園に勤務している方へ向けて、改訂及び改定の要領・指針を解説していただき、とてもわかりやすかった。
- ② 「情報交換会」では、他の園の先生方の意見を聞く時間もあり、とても有意義だった。
- ③ 「体験活動の実際」では、今後の保育に活かせる内容だった。
- ④ 全体を通して、理論と実践を学ぶことが出来た。

(3) 成果

- ① 「シンポジウム」では、一府二省で改訂及び改定に携わった専門官等からの解説により、変わった部分と変わらない部分を具体的にわかりやすく理解することができ、有意義な研修となった。
- ② 「情報交換会」では、園での取組や課題などについて講師と参加者の交流を図ることができた。
- ③ 「体験活動の実際」では、段ボールハウス作りや自然を取り入れた活動を参加者が実際に体験して、現場でどう活かせるか、リスクマネジメント等について共有することができた。

(4) 今後の課題

- ① 参加者の参加形態は日帰りが多く、宿泊者数が少なかったため、宿泊者を増やす手段を考える必要がある。
- ② 参加者の参加形態が複雑であり、把握が難しかったため、わかりやすい要項を作成することが必要である。
- ③ 参加者の動線、待機場所、荷物の置き場所など、配慮が足りない部分が多かったため、綿密に計画する必要がある。
- ④ 岡山県内で10市町の参加であったことから、全県からまんべんなく参加できる広報を行う。

担当：企画指導専門職付 貞方 貴衣